

教育目標 やさしく かしこく たくましく



畑小
だより

佐渡市立畑野小学校
学校だより
令和元年7月1日発行
校長 古塩 正明
Tel.0259-66-2019

よくほめられました！

校長 古塩 正明

6年生の修学旅行も奇跡的な好天に恵まれ、無事終わり、いよいよプール水泳が始まる時期となりました。1学期もあと残すところ1ヶ月を切りました。そして夏本番を前に、汗びっしょりで遊んだり、運動したりする畑っ子がたくさん見られるようになりました。振り返れば1学期もいろいろなことがありましたが、今年度の1学期は、例年に無くたくさんのお客様から、子どもたちの様子を見てもらったり、授業をしていただいたりする機会がありました。

先日は、佐渡市で新採用になった5名の先生方が研修で本校に来てくれました。授業の様子を見たり、一緒に休み時間を過ごしたりして1日を過ごしてくれました。急に先生が増えたようで子どもたちも何となく嬉しそうでした。その前は県教育庁の職員が学校視察に、またその前は新潟大学の准教授が道徳の授業について教えに来てくださいました。そして、つい最近では、上越教育大学大学院の教授が学生5名を引き連れて、6年生に「プログラミング教育」の授業をしてくれました。佐渡市の指導主事の先生からも、先日学習の様子を見ていただきました。

5・6月は、本当にたくさんの方から学校においでいただき、いろいろ教えていただいたり、子どもたちの様子を見ていただいたりしました。私はいつもそのお客様が帰られる前に、お礼のこトバとともに、「畑野小の子どもたちはどうでしょうか？」と何気なく聞くことにしています。

すると、うれしいことに、来てくれたほとんどの方が、口をそろえて褒めてくれるのです。

例えば

「みんな前向きに授業に取り組んでいますね。」

「みんな意欲的で、真剣で、男女の分け隔て無く学習していますね。」

「学習の態度がよく、みんな集中して課題に向き合っていますね。」

「教室に入ったときや玄関の前で、元気にあいさつされてとてもうれしく思いました。」等です。また、修学旅行中にも

「子どもたちは礼儀正しく、時間をしっかり守れる子ばかりですね。」とか

「みんなのことを優しく思いやれる子ですね。」 「元気な挨拶を自分からしてくれますね。」という言葉を会津若松の方々からいただきました。

私はこのような感想を聞くたびに、その言葉を素直に受け止め、先生方や子どもたちにできるだけ伝えるようにしました。

やはり、普段学校にいない人や、外部の人から褒められるという経験をたくさんすることで、より「やる気スイッチ」が入るのではないかと思います。マイナス面を注意されることより、プラス面をほめられることが、子どもたちにとってもよい自信につながるのではないのでしょうか。

これからも、地域や関係機関とのつながりを大切にして、いろいろな人から子どもたちの活躍を見ていただく機会を増やしていければと考えております。

思い出いっぱい修学旅行

天気OK！ 準備OK！ 体調OK！ すべてOK！



6年生が小学校生活の大イベントの一つ、修学旅行に行って参りました。天気も奇跡的に回復し、絶好の旅行日和となりました。見るもの聞くもの触れるもの会ってきた人全てからいろいろなことを学んで来てくれたことでしょう。しっかり一人一人の思い出の1ページに刻みながら、今後の学校生活にこの経験を生かすとともに、学校のリーダーとして、また、活躍してほしいです。お疲れ様でした。ご準備いただいた保護者の皆様、そして昨年度から手配をしていただきました銀河旅行様には深く感謝申し上げます。

6月のスナップ



縦割り班で体力テスト



小中連携プール清掃



2年生研究授業（指導主事訪問）



6年生研究授業（初任者の先生も参観）